

令和3年度【保健体育】授業改善推進プラン

文京区立第八中学校

	課題の分析	授業改善の視点	成果と課題
1年生	<p>①学習に意欲的に取り組む反面、教師の説明を聞けていない生徒がいる。</p> <p>②学級によって取り組む姿勢や生徒の授業意欲が違う。</p> <p>③交流授業に意欲的に取り組めない生徒がいる。</p>	<p>①説明の時間を短く、またキーポイントを強調するような説明を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉だけではなく、視覚的方法（ICT、学習カード、人形等）で説明を行う。</li> </ul> <p>②本時の授業を明確し、学級がより良い雰囲気になるようにポジティブな声掛けができるように支援していく。</p> <p>③特別支援学級の先生と相談しながら、可能な範囲で実技指導を行う。また、通常の学級に在籍する生徒との共同学習を実践していく。</p>	
2年生	<p>①お互いにアドバイスをしながら、学習に取り組む姿勢が見られてきたが、質の高いアドバイスをし合うことが課題である。</p> <p>②運動を楽しむことはできるが、本時の目標や自己の課題を意識して学習に取り組むことができない生徒がいる。</p> <p>③男女共習になったことで互いに恥ずかしがるような場面が見られた。</p>	<p>①掲示物や教師や生徒の模範演技を見せながら「良い動き」と「悪い動き」はどのような違いがあるのか生徒一人一人に正確に理解させる。ICTを活用し、動きのイメージをもたせる。</p> <p>②学習カードやノートを活用しながら、目標や課題を振り返ることができるようにする。そうすることで、次回の授業に見通しをもたせる。</p> <p>③水泳などは性差があるため、距離を置くことや練習方法を変えるなどして授業を展開する。</p>	
3年生	<p>①自己の課題を把握して、課題意識をもって練習に取り組むことができない生徒がいる。また意見交換やアドバイスをすることに躊躇する生徒もいる。</p> <p>②課題や学習ノートは出しているが内容の薄い記述で終わってしまう生徒がいる。</p> <p>③男女共習になったことで互いに恥ずかしがるような場面が見られた。</p>	<p>①グループワークを取り入れ、話し合い活動の時間を設ける。また話し合い活動でできた内容をノートに記入させ、次の授業に生かせるようにしていく。</p> <p>②書き方の見本や個別にアドバイスをして、書き方指導を行っていく。</p> <p>③水泳などは性差があるため、距離を置くことや練習方法を変えるなどして授業を展開する。</p>	